

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳																																																													
■1.「地球温暖化対策」の推進																																																																		
1.1 建物の熱負荷抑制																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 屋根の高断熱仕様の採用	3.0	1.00	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能																																																								
	0.0	0.00																																																																
	3.0	0.00									LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制																																																				
小計	3.0	0.04																																																																
1.2 自然エネルギーの利用																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 雑用水に井水を採用	3.0	0.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用																																																												
小計	0.0	0.00																																																																
1.3 設備システムの高効率化																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 高効率熱源機器の採用	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化																																																												
小計	4.0	0.33																																																																
1.4 設備システムの効率的運用																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング																																																										
	3.0	0.50									LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制																																																		
小計	3.0	0.13																																																																
1.5 資源・マテリアル対策																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 節水型洋風便器・小便器・節水コマの採用	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水																																																										
	3.0	0.11									LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無																																																
	3.0	0.05																	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無																																								
	3.0	0.08																									LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減																																		
	3.0	0.15																																	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用																										
	3.0	0.15																																									LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用																		
	3.0	0.15																																																	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用										
	2.0	0.08																																																									LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	3.0	0.15																																																																
小計	3.0	0.35																																																																
1.6 ライフサイクルCO2排出率																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO2の削減	3.3	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮																																																												
小計	3.3	0.15																																																																
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			3.4	0.71																																																														
■2.「ヒートアイランド対策」の推進																																																																		
2.1 温熱環境の向上																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出																																																												
	3.0	0.24									Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上																																																		
	3.0	0.27																	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善																																										
小計	2.0	0.97																																																																
2.2 交通負荷抑制																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制																																																								
小計	3.0	0.03																																																																
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			2.1	0.20																																																														
■3.「長寿命化対策」の推進																																																																		
3.1 耐用性の向上																																																																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 建物全体のコンセプトや機能に配慮	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	1	耐震性																																																								
	3.0	0.27									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	2	免震・制振性能																																																
	3.0	0.11																	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数																																								
	3.0	0.11																									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔																																
	3.0	0.05																																	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔																								
	3.0	0.05																																									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔																
	5.0	0.11																																																	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔								
	3.0	0.11																																																									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
小計	3.2	0.58																																																																
3.2 設備の更新性																																																																		
(コメント) ※設計の計画上添段に配慮した事項を記載してください。 建築設備の更新性の向上に配慮	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性																																																								
	3.0	0.20									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性																																																
	3.0	0.10																	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性																																								
	3.0	0.10																									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性																																
	3.0	0.20																																	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性																								
	3.0	0.20																																									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保																
小計	3.0	0.42																																																																
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)			3.1	0.09																																																														
■重点項目の総平均(上記3項目)			3.1																																																															